

福岡県の水田内におけるイネカメムシの発生推移と防除対策

背景

近年、一部地域でイネカメムシによる斑点米の多発が急激に問題化してきました。

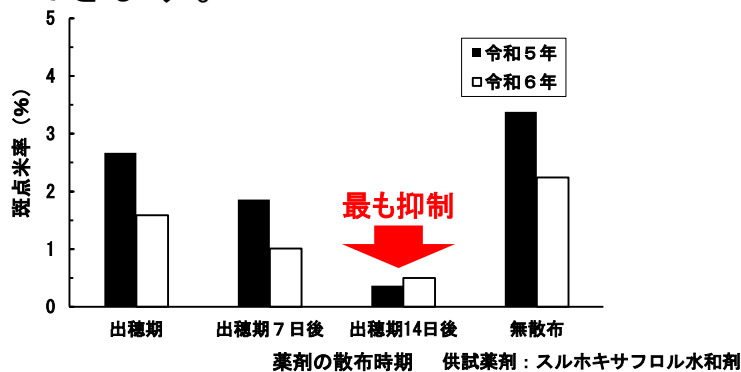
成果の内容

イネカメムシの水田内における発生推移とその生態に応じた有効な防除対策を明らかにしました。

イネカメムシは7月以降、成熟の早い作期・品種の水田に出穂期前後から侵入し、その後も出穂期前後の水田に順次移動します。



出穂期14日後の薬剤散布でイネカメムシによる斑点米を抑えることができます。



イネカメムシによる斑点米

【研究チームのコメント】

○出穂期14日後の薬剤散布により斑点米を防ぎ、イネの安定生産に貢献できれば幸いです。（病害虫チーム）

